

2016 年 2 月

日本語教育研究センター テーマ科目担当教員各位

日本語教育研究センター  
所長 館岡 洋子

### テーマ科目群の科目廃止基準変更について

拝啓、平素より日本語教育研究センターの教育活動にご理解、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、本学における留学生数は堅調に増加し、本学全体の外国人学生数は 5,084 名（2015 年 11 月現在）に達しました。2015 年度秋学期科目登録では、他学部・研究科等所属の学生も含め、約 2,200 名の学生が本センター設置科目を履修しております。これもひとえに、魅力ある日本語教育を実践されてきた先生方によるご尽力の賜物と感謝しております。

その一方で、2010 年度以降の各学部・研究科における英語学位プログラムの拡大に伴い、初級レベルのニーズが増大し、相対的に上級レベルの履修希望者が減少しております。2015 年度現在、上級レベルを中心にクラス定員に対する履修者数（定員充足率）が 6 割を下回っており、また履修者数が 10 名未満のクラスも散見されます。（詳細は、参考資料の「2015 年度テーマ科目レベル別定員充足率、履修希望倍率」をご参照ください）。

つきましては、学生のニーズを捉えた学習機会の提供を期すために、従来のテーマ科目の廃止基準を変更し、下記の通り 2017 年度春学期より新たな学科目運用を適用いたします。今後とも当センターの教育活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

#### 記

（現状）

2 年度間開講されない科目は「廃止」とする。

（2017 年度春学期以降）

- 1) 2 年度間開講されない科目は「廃止」とする。
- 2) 2 年度間にわたり履修者数が 10 名未満（9 名以下）の科目は「廃止」とする。科目を「休講」としている場合は、履修者数 0 名とみなす。なお、履修者数とは 1 次登録、2 次登録、3 次登録、救済登録を経た、最終的な人数とする。

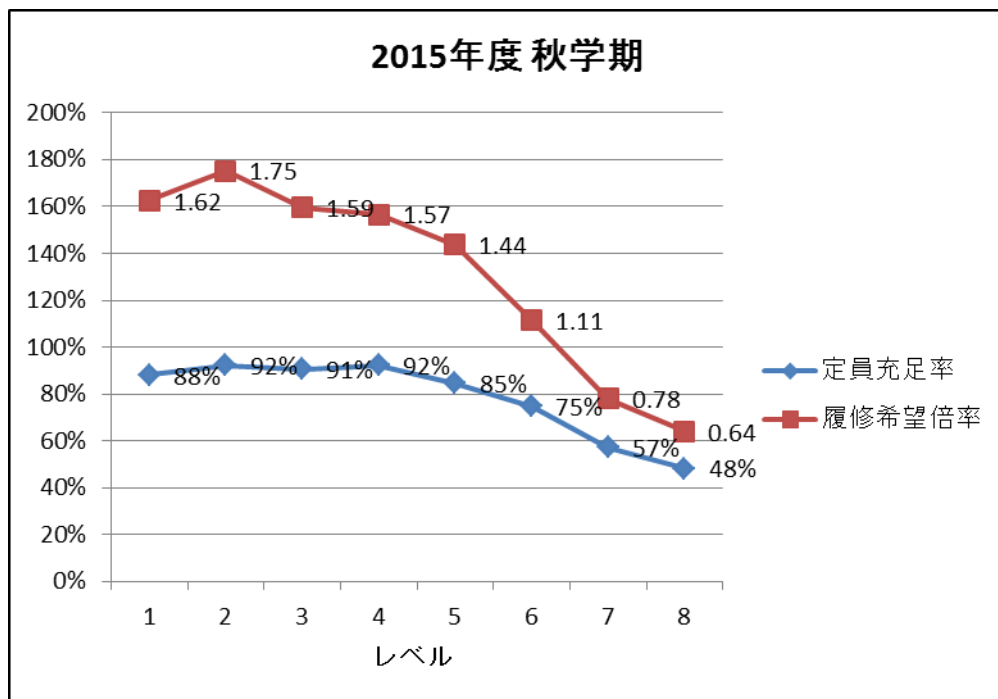
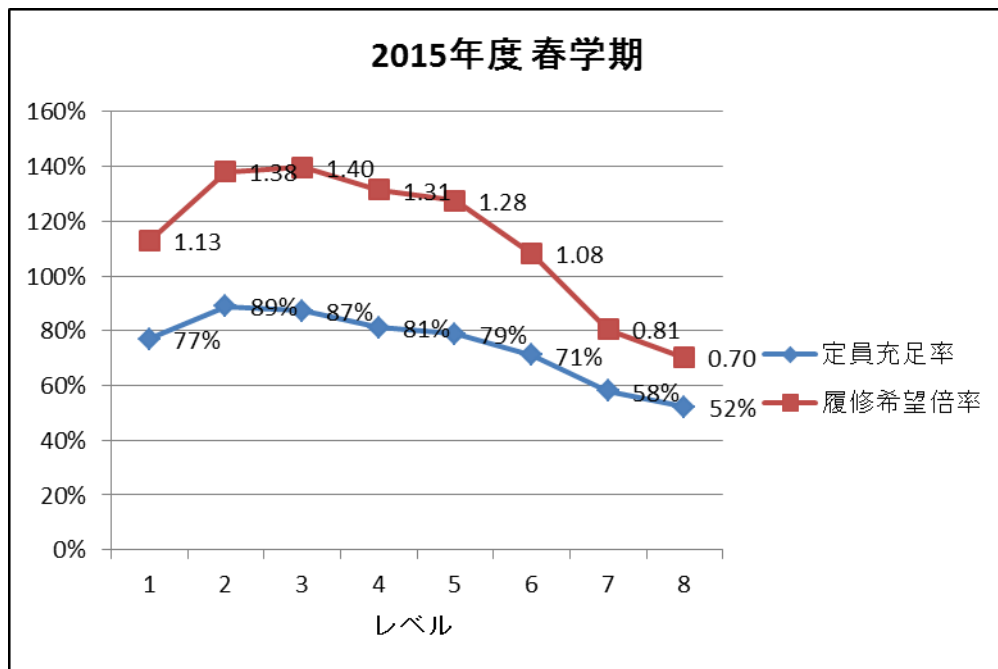
※上記学科目運用は、2017 年度以降の適用とする。

以上

参考資料（別添）： 2015 年度テーマ科目レベル別定員充足率、履修希望倍率.pdf

（本件連絡・問い合わせ先）  
日本語教育研究センター事務所  
E-mail : [cjl-staff@list.waseda.jp](mailto:cjl-staff@list.waseda.jp)  
電話 : 03-5273-3142

## 2015年度 テーマ科目レベル別定員充足率、履修希望倍率



定員充足率 = (総履修者数/受入可能人数)

履修希望倍率 = (科目履修希望者数/受入可能人数)

※複数のレベルにわたる科目は、科目数、受入可能人数、科目履修者希望者数(のべ)、総履修者数をそれぞれのレベルに按分し算出。